

鬼才釣崎清隆が挑む全世界驚倒の残酷超大作！
愛と暴力の大地コロンビア
エンバリーミングの衝撃映像で綴る
二十世紀最強最後の残酷！

OROZCO EL EMBALSAMADOR
una realización de TSURISAKI KIYOTAKA

釣崎清隆監督作品

死化粧師オロスコ

監督・撮影 釣崎清隆/撮影協力 アルバロ・フェルナンデス・ボニージャ/制作協力 V&R プランニング



南米コロンビアの首都サンタフェ・デ・ボゴタ、メデイスナレガル（死体公
示所）を中心に葬儀屋が林立する一角。この辺りは麻薬カルテルのアジ
トがあり、ホームレスの一大居住区にもなっていて、ボゴタの中でも特に治安
の悪い地区として知られている。フロイランシ・オロスコはその、モルグ街に
生きたる最長老エンバマーだ。監督である釣崎清隆が最初に出会った二
九九五年当時、オロスコは六十一歳だった。四〇年のそのキャリアの前は軍
人だった。そしてその頃自らが手をかけて殺した人の数をはるかに超
ぐ量の死体を吊ってきた。償いの意味もあるのかどうかはわからないが、
彼は一日も休まず、日に五体から一〇体の死体を黙々と化まじらせた。
どんな大男の死体も一人で持ち上げる頑強な体躯を持つツラを誇りに
いたような男、顔に刻まれた皺の一本一本がコロンビアの、ラビオレシア暴
力の時代」を雄弁に物語る。釣崎は一目でオロスコという人物に惚れ込み、
それから三年間という長期の取材を敢行した。

老境にどしどしかかったエンバマーが自らの死を見つめながら死体と踊
る死のダンス・マカブル、この作品は、エンバミングという閉ざされた世
界に生き、死体と対峙し続けるオロスコという生身の人間を描いた、こ
れまでの死体を扱った作品とは一線を画すショクメンタリーである。ま
たエンバミングの模様を詳細に収録した世界で初めての作品でもある。

OROZCO EL EMBALSAMADOR

una realización de TSURISAKI KIYOTAKA

エンバミングとは・・・

遺体を生存していた頃と同じように外見修復するとともに防腐処理によって長期間にわたってその状態を保つことが出来るように処理を施すこと。その歴史は約4000年前のエジプトのミイラにまで遡り、アジア大陸南部、ヨーロッパ、アメリカへと広まり特にキリスト教の国々における「復活思想」から遺体の保存が重要視されてきた。

監督プロフィール

釣崎清隆 (つりさき きよたか)

1966年12月20日富山県生まれ。慶應義塾文学部卒。
SMビデオの監督を経てフリーの死体カメラマンになる。
1996年に作品集「danse macabre to the
HARDCORE WORKS」を発表。
現在、作品を「BURST」(コアマガジン)にて連載中。



死化粧師オロスコ

釣崎清隆 監督作品1999年度作品/VTR/スペイン語/84分

監督・撮影 釣崎清隆/撮影協力 アルバロ・フェルナンデス・ボニージャ/制作協力 V&Rプランニング
http://www.02.u-page.so-net.ne.jp/sb3/mon-jul/d-tsur.html http://www.people.or.jp/~hitondenashi/

新世紀に語り継がれる残酷大作ついに大阪最終上映!

4-23 MONDAY
4-29 SUNDAY

20:00よりレイトショー
28日(土)、釣崎清隆監督トークショーあり

一般 1500円
会員 1200円
梅田・堂山町15-2 関西中央ビル別館B1
お問い合わせ 06-6312-8231

